

ゆとりある教育を求め 全国の教育条件を 調べる会 ニュース

2018.3.28発行

NO.51

各地で情報公開請求を
夏の研究会&総会について

今年の夏は、福島です。

調べる会夏の研究会&総会を、
今年には福島で行います。会員の斉藤毅さんにお
世話していただきます。

福島県の学校の実情など、詳しく学ぶことが
できると思います。ぜひ多くの方のご参加をお
待ちしています。

とき 2018年8月8日(水)9日(木)

ところ **磐梯熱海温泉 浅香荘**

福島県郡山市熱海町熱海5-40
(教育公務員弘済会施設)
TEL 024-984-3157

*参加申込の〆切予定：7月20日
(調べる会を通してください。)

経路 JR郡山駅で乗り換え
磐越西線・磐梯熱海駅下車 徒歩で5分
(800円程度)

<現在時点での日程・内容について4頁参照>

沖縄で、おおいに語る！

2月9日(金)沖縄県教職員組合那覇支部の主催
で「少人数学級を考える学習会」が行われ、山崎事
務局長が講師を務めました。

学級編制基準については、よく知られていても、
教職員の配置基準についてはあまり知られていな
いので、関心をもって聞いて頂けたようです。

今後、奈良県、三重県、愛知県でも講演会・学習
会が予定されています。お近くの方は、ぜひご参加
ください。(詳細は2頁)

2014年度以降の 各県の情報公開活動に取り組みましょう！

調べる会のパンフレットNO.36を作成した結果、
全国調査では把握困難な調査項目が明らかになり
ました。定数の実態を把握するためには、県や市町
村への公文書公開を求める必要があります。

3月9日、宮崎県と宮崎市に個人名で公開請求を
行いました。公開手数料は個人負担です。

(詳細3頁)

お知らせ

2017年度の
教職員配置状況など

2015・2016年度の決
算確定版なども合わせて、近日
中にデータCDをお送りいたし
ます。(会費納入済み正会員)

本の合評会の記録が
できました。

ほぼ完全な記録を冊子にま
とめました。会員の方には同封
しています。会員以外の方でご
希望があれば、お送りします。

会費納入のお願い

会計年度は、8月～7月です。
前年度分、今年度分について納
入をお願いいたします。

ゆうちょ銀行

名前：全国の教育条件を調べる会
番号：01750-5-132608

正会員	年間	5千円
学生会員	"	1千円
賛助会員	"	2千円

沖教組那覇支部で講演会

2月9日（金）沖縄県教職員組合那覇支部の主催で「少人数学級を考える学習会」で山崎事務局長が講師を務めました。

沖縄県では、翁長県政となってからさらに少人数学級制が拡大し、来年度には小学校全学年で35人学級が実施される予定です。そのこと自体は、大きな前進で積極的に評価できます。

しかし、増やされた学級数と同数の教員数しか増やされておらず、それは臨時的任用教員です。そして、少人数制拡大の一方で、加配教員が縮小したり、事務職員、養護教諭、特別支援学校教員などは標準定数を下回っています。

そのことで、せっかくの少人数学級制実現にもかかわらず、教職員の負担が増す結果となっている例も見られます。地方の厳しい財政のもとで少人数学級制を実現しようとする、どうしてもこのような矛盾が表れるようです。

単に少人数学級制で増学級するだけでなく、相応の教員を増やし、教員以外の職種、特別支援学校教職員を減らすことなく充実させるなどの取組みが必要になります。

教職員の長時間労働を解消することと、子どもの学習権を保障する教育を進めることを両立するためには、「働き方改革」だけでなく教職員定数改善など教育条件整備が必要です。

特に教員定数算定で学級数にかける「乗ずる数」の数値改善など、教職員定数算定基準を改善することは、学級編制標準の改善とともに必要なことです。

幅広い人々と共同して「学校に必要なのは人と予算」と国に求めていくことが求められていると訴えました。参加者のみなさんと議論しながら、沖縄の教育条件整備のために話し合えて有意義な時間を過ごすことができました。

今後の講演予定

3月31日（土） **なら** 県民教育研究所 於：奈良教育大学

4月30日（月・祝） **三重** 30人学級を実現する会 於：四日市市

7月29日（日） **愛知** 県教職員労働組合協議会 於：名古屋市

「教育条件」公文書公開請求について

(宮崎の教育条件を調べる会 橋口幽美)

宮崎県教育委員会と宮崎市教育委員会あてに 2018年3月9日提出しました。

請求する公文書の件名又は内容

1枚目

公立小学校と公立中学校について、2012(平成24)年度～2017(平成29)年度の学級編制にかかわる下記の文書

- (1) 宮崎県(宮崎市)の学級編制基準及び運用基準
- (2) 4月1日付人事異動の内示にあたり、教職員の配置の根拠として使用された文書
(〇年度推計児童生徒数調査書といったような文書)
- (3) 学校ごと学年ごとの実際の学級編制数と学級ごとの児童生徒数
(通常学級・特別支援学級・通級学級)入学式・始業式現在数

2枚目

公立小学校と公立中学校について、2012(平成24)年度～2017(平成29)年度の教職員配置にかかわる下記の文書

- (1) 宮崎県(宮崎市)の教職員配当基準
- (2) 学校ごとの実際の教職員配置数(職種別、職名別)
- (3) 国による加配、県による加配、市(町・村)による加配の学校ごとの数(職種別、職名別)
- (4) 5月1日現在の病気休暇中、休職中の教職員数とその代替者数(職種別、職名別、事由別)

他の自治体で請求する場合

*上記網掛け部分を書きなおしてください。

- ・上記請求では、請求書を2枚提出しましたが、別紙にまとめて請求してもよいでしょう。
- ・他にも知りたい事柄があれば、追加してください。文書名が分からない時は、知りたい事柄を記入。
- ・予算に関わる公文書の保存期間は過去5年です。3月中に請求書を出せば、2012年度分が取れますが、4月以降になると2013年度分からしか取れなくなる恐れがあります。
- ・とりあえず、2012年度分を取っていただけると、有難いです。

(1枚10円などの手数料も必要です。申し訳ありませんが、個人の負担でお願いいたします。)

<2012年度から、学級編制事務が「事後報告制」に変わっています。>

<議員さんに依頼して調査していただくという方法だと、費用はかかりません。>

*今、請求することで、2018年度の学級編制や教職員配置にも影響を与えることが期待できます。

公正で民主的な教育行政を実現しましょう。そのための仕組みが「情報公開制度」です。

(請求は、個人でも、団体でもできます。条件は、その自治体に住んでいるか、働いているか、利害関係があることです。詳しくは自治体ホームページで確認するか、電話で問い合わせてください。)

留意点・・・県からの公開がちゃんとあれば、市町村へは、市町村単独配置数関係だけでよいでしょう。

会員の皆さまからの総会へのおたより

(50音順 敬称略)

赤坂てる子 (岡山県)

出版、おめでとうございます。残念ですが、別の会議があり、参加できません。

岡山での学習会后、次々と教員配置について(どの定数でしょうか?)問題が明らかになっています。県内で、学力向上の特命教諭(6人)が配置教育に穴が開く、代替不補充が2016年度212人に。

木戸久裕 (兵庫県)

やっと、中学校教員の勤務実態が話題になりました。必要な人員の計算の基礎がない無責任さが、明確になることを願います。

齋藤毅 (福島県)

福島で、北海道・東北ブロックの定通部学習交流集会を開催するため、出席できず残念です。いずれ福島でも調べる会の集まりが持てるよう、山崎さんの新著に学び、調べる力をつけたいと思います。

鈴木つや子 (愛知県)

生活環境整備のため、物の断捨離整理中です。戦後直後の社会・教育の状況が書かれた本を蔵書の中から見つけました。困難な時代の中で、人々がどうやって次世代を育てていったかに興味を持って、調べていこうと思っています。

古澤絵美 (長野県)

「今 学校に必要なのは人と予算」をお送りいただき、ありがとうございました。早速、組合交渉にいかすことができました!! タイムリーな内容です。(再任用教職員問題です。鈴木さんの論文も参考にさせていただきました。)

昨年(2017年)の11月5日の総会の、出欠連絡ハガキに書いていただいたものです。齋藤さんのお便りに、さっそくお応えして、今年の「調べる会なつ研&総会」を福島で行うことにいたしました。みなさん、ぜひ、ご都合をつけてご参加いただきますよう、お願いいたします。

調べる会 夏研&総会 in 福島

第1次ごあんない

とき 2018年8月8日(水)9日(木)

参加費：1日あたり500円

宿泊：13,000円

ところ 磐梯熱海温泉 浅香荘

福島県郡山市熱海町熱海5-40

TEL 024-984-3157

<研究会の日程>

8月8日(水) 13:00 受付・開会行事(自己紹介など)

- 14:00 研究報告 福島の学級編制と教職員配置について(斉藤毅)
- 15:00 全国の状況の特徴と福島の比較(山崎洋介)
- 16:00 地方自治と国の責任との関係について
戦後復興期政策決定過程の検討を通して考える(宮澤孝子)
- 17:00 終了予定

18:30 夕食交流会<希望者のみ 要予約> 交流会のみの参加費 5000円

8月9日(木) 9:00 受付・二日目の開会

- 9:30 研究報告 各県定数ギャップ調査と宮崎県の調査結果(橋口幽美)
- 10:30 東京での2017年地教行法・義務標準法等改正後の変化
(小宮幸夫)
- 11:20 未定
- 12:00 研究会終了
- 13:00 調べる会総会
- 15:00 学級編制と教職員配置の、調べ方講座(公文書の読み取り方・まとめ方)
- 17:00 終了

8月10日(金) **被災地フィールドワーク** <申込先着順:7名まで>

9:30 浅香荘出発・・・15:00 JRいわき駅解散